

松川村議会だより

第167号
6月定例会



◀ 6月5日 議員が役場庁舎前の除草作業

国保特別会計が大きく改善

農業委員の任命に同意・東松川区民と意見交換会を開催

平成29年第2回定例会は、

6月9日から19日まで11日間の会期で開催しました。

上程された議案等17件(専決9件・報告1件・議案7件)を全会一致で可決等しました。

その内2件は人事案件で教育委員1人と、農業委員12人の任命に同意しました。

議員提案の1議案「全国森林環境税の創設を求める意見書」を賛成10・反対1で可決しました。

各常任委員会に付託された請願、陳情6件は、共謀罪(テロ等準備罪)等の3件を不採択とし、3件を全会一致で採択しました。

一般質問には、5名の議員が登壇しました。

東松川区長の申し出により、5月27日に区民との意見交換会を開催しました。

請願・陳情の審査結果

件名	採決結果
「共謀罪(テロ等準備罪)」に反対する意見書の採択を求める陳情書	不採択に賛成9・反対2
「共謀罪」創設に反対する意見書の採択を求める陳情書	不採択に賛成9・反対2
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書	全会一致で採択
国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書	全会一致で採択
介護保険制度の改善を求める意見書の採択を求める陳情	全会一致で採択
「テロ等準備罪」(共謀罪)を制定しないよう求める意見書提出を求める陳情	不採択に賛成9・反対2

6月定例議会 議案審議結果 すべて全会一致で承認・可決（千の位を切り捨て）

件名	内容
松川村税条例の一部を改正する条例	地方税法改正に伴う条例の改正
松川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	地方税法改正に伴う条例の改正
松川村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	政令改正に伴う条例の改正
平成28年度松川村一般会計補正予算（第10号）	7539万円減額し41億5307万円とする。
平成28年度松川村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	4560万円減額し11億3721万円とする。
平成28年度松川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	6万円を追加し9694万円とする。
平成28年度松川村公園墓地造成事業特別会計補正予算（第3号）	223万円を減額し1831万円とする。
平成28年度松川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	2531万円減額し4億3282万円とする。
平成28年度松川村水道事業会計補正予算（第5号）	収益的収入380万円増額し、収益的支出を1800万円減額する。資本的収入144万円追加し、資本的支出を604万円減額する。
平成28年度松川村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	松川村一般会計予算補正第6号、第8号、第9号及び第10号の繰越明許費を翌年度へ。
松川村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	し尿くみとり手数料の改正
平成29年度松川村一般会計補正予算（第1号）	992万円を追加し40億7992万円とする。
平成29年度松川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	1106万円を追加し5億7004万円とする。
平成29年度松川村水道事業会計補正予算（第1号）	収益的支出1万円減額する。資本的支出1030万円増額する。
放課後子ども教室一体型の推進に係る設備整備事業備品購入の契約の締結について	指名競争入札により981万円でキッセイコムテック株式会社と契約締結する。
松川村農業委員会委員の任命について	農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定、並びに施行規則の規定による議会同意
教育委員会委員の任命について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定による議会同意

一般質問 5人の議員が登場

平成29年6月15日



村内公共施設の現状と今後

百瀬 清

問 馬羅尾マレットゴルフ場の現状は。

答 管理をしない施設だが、使用することは可能。

問 高瀬川パターゴルフ場の現状は。

答 閉鎖中で使用不可。

問 2つの施設に関する「情報発信」の在り方について、広報まつかわに記載されているものの松川村ホームページは更新されていないが。

答 ホームページ見直しをし、情報の一元化についても進めていく。

問 景観上からも今のままでは気になる。パークゴルフ・グランドゴルフを取り入れたらどうか。

答 提言に感謝する。荒地にならないよう検討する。

高齢化と自治組合活動

問 75歳以上の単身生活者の過去10年の推移は。

答 66名の増加。

問 自治組合加入率の過去10年の推移。

答 加入率は82・5割で、4・3割減少している。

問 自治組合の再編成を考えるとほしい。

答 戸数が減少すれば隣接する組合と一緒にして、増加の場合は複数に分割。各区で再編している。

問 高齢化で組合活動のできない世帯は。

答 地域の連携と支え合いが大切。防災の面からも高齢者こそ加入が必要。区及び自治組合でぜひ対策を。行政も負担の少ないように努力する。

問 自治組合運営状況は。

答 確かに加入率は少しずつ減少傾向にあり、自主防災組織活動・自主的な地域づくり活動は災害時に必ず大きな力として発揮されると考えている。自分の命は自分で守る。という事につながる。



住宅の安全対策

梨子田長生

問 住宅造成の現状は。

答 過去3年間で、民間20、村19の計39区画。

問 土地利用の見直しは。

答 計画期間は10年、中間5年で平成32年度見直しをする。

問 分家新宅の考え方は。

答 規定の範囲内で緩和措置をしている。

問 耐震診断改修の現状は。

答 平成28年度までは、診断464件、改修12件。

問 耐震改修の部分的な補助金の考えは。

答 制度上は無理だが、町村会でも強く要望。

問 新たな住宅安全網制の考え方は。

答 良い考え方だと思つ。また、若い方に住んでもらせるよう新たな方策もある。早期に人口1万人を目指したい。



松川村消防団の充実

平林 幹張

問 団員定数の歴史的背景と分団統合の経緯は。

答 大正3年、板取青年会から100余年の歴史を有し、昭和15年9分団288名となり、消防組織法に基づき平成16年に5分団制に200名で現在に至る。

問 火災現場における役割分担は。

答 広域消防は屋内消火

問 出動率は。

答 訓練50割、日中の緊急出動は30割。

問 年齢構成と平均年齢。

答 ほぼ34歳。年齢構成、30代後半25割、40代20割と高い。

問 年齢構成改善の為の定年制、職務軽減の機能

問 別消防団員の検討は。

答 お聞きしておく。

問 装備設備等について。

答 今期、2分団詰所が完成すれば完了。広域消防へは、1億円負担している。

問 消防団が抱えているこれら諸問題と消防団の魅力を村民への周知は。

答 消防委員会検討。

高齢者福祉対策の充実

問 サービスの現状は。

答 在宅生活、外出、介護者の支援。

問 今後の検討を。

答 村高齢者地域支え合い体制整備協議体で検討。

問 介護用品購入費の助成対象者が要介護4・5の根拠は。

答 介護者の負担も大きく、在宅で介護し、村民税非課税世帯を助成対象。

問 福祉タクシー乗車券交付を。

答 実施予定はないが、福祉有償輸送サービスや移動支援事業で対応。

問 運転免許自主返納支援を。

答 いい方策があるか検討する、時間が欲しい。

問 介護用品購入費の助成対象者が要介護4・5の根拠は。

答 介護者の負担も大きく、在宅で介護し、村民税非課税世帯を助成対象。

地方創生と農業振興

問 市場調査結果と効果。

答 品目共通で、相手国は、台湾、香港、シンガ

問 農産物輸出推進協議会の進捗状況。次年時、販路開拓、招致活動、商品開発に向けた取組みは。

答 契約は、6月中旬、10月に中間報告を受ける。

問 産地限定日本酒の製造は。

答 行政ごとに進めている。松川は大雪深酒造。

問 安曇野ちひろ公園体験事業は。

答 人材を配置し活動強化を図って高評稼働中。



政治姿勢

上田 治美

問 安倍総理の改憲発言と総理大臣の憲法尊重・擁護義務の認識は。

答 村長としての発言は差し控えるが憲法は守って行く。

問 核兵器禁止条約締結の動きへの感想は。

答 核兵器禁止条約に日本は賛成してほしい。

住みよい村のために

問 18年度に中学卒業まで子どもの医療費窓口無

する。

問 就学援助金を小学生にも支給改善を。

答 30年3月の支給を目指して検討している。

問 東松川区での意見交換会でりんりん号の運行改善を求める声が出た。

答 利用者交流会などで意見を聞いて木曜日を運休し、月曜日運行を始めた。

問 信濃松川駅前と北踏切の安全対策を求める声も出たが。

答 春の防犯部長会でも

提起された。駐在所で可能な限り対応し、学校での交通指導もしている。

ふるさと納税

問 ふるさと納税が各地で問題化している。国の通知に対する村の対応は。

答 返礼品は3割に、村の特産品は従来通りとし、高額の火花は取りやめる。

問 物を残す使い方に人材育成、健康長寿なども「残す」事業ではないか。

答 全体が良くなるようにしていきたい。



安心・安全に対する村民要望

佐藤 節子

問 村の公園墓地が綺麗に整備されたが、上段が急勾配で墓参に苦勞している。手すりを要望されたが今後の予定は。

答 管理用道路は業者が使うので困難。検討する。

問 村内の高齢者施設が分らない。車から見えるよう案内看板を頼まれたが取り付けは。

答 民間施設なので行政で

入し6年目。消防庁の情

報を年に数回使用した。周知に勤めたい。

問 万一、このシステムが作動した場合の対応は。

答 災害や外国からの国民保護の情報を流すので、良く放送を聞いて行動してほしい。

問 今年の防災訓練はどのような予定か。

答 8月27日に実施予定。直下型地震を想定しJアラートを活用。小学校体育館を避難所として、職員がマニュアルを実演す

るので村民も避難所運営に参加し知識の共有を。

問 29年度中に、介護施設B型の基準を決めると聞いたが現状は。

答 広域連合で10月を目処に、基準を作成中。

問 松川村包括支援センターの取り組みは。

答 松川村高齢者地域支援合い体制整備協議体を発足させ進める。村民には、小さな幸せを大切に元気にすごすようお願いする。

ほうれん草水耕栽培視察研修

総務産業建設常任委員会

平成29年6月13日

村民の紹介を受け全議員で、梓川の先進的な取り組みをする「あつきーファーム」水耕栽培のハウスを視察研修しました。

1人の青年が、自分の夢を実現して農業に挑戦している姿や、全てが手作りという綺麗に整頓されたハウスに感動し、農業への新しい方向性を感じる視察研修でした。



▲「あつきーファーム」を営む三村徳明さん

東松川区民との意見交換会

議会改革推進委員会

平成29年5月27日

議会は申し込みをいただいた東松川区の22名と全議員で意見交換会を開催しました。

主な意見と要望

- コミュニティ東松川の老朽化への対応
- 福祉バスの運行改善とあづみ病院への乗り入れ
- 高齢者の運転免許証自主返納への対応
- 信濃松川駅前と駅北踏切の安全対策
- 公園墓地の手すり設置
- 議会・議員への提言
- 高規格道路の建設には住民要望を

以上のように、生活に密着した多くの意見が寄せられ、終始和やかな意見交換会でした。

なお、議会では意見交換会を随時受け付けています。議会事務局までお申込みください。

◆お申込み先
議会事務局
TEL 62-3111



▲東松川区民との意見交換会の様子



▲あいさつをする平林吉夫東松川区長

放課後子どもプラン視察研修

社会福祉文教常任委員会

平成29年6月13日

放課後子どもプランは、子ども教室と児童クラブがあり、子ども教室は240名・児童クラブには81名の児童が登録しています。子ども教室の使用施設は小学校王鳳館・体育館・すずの音ホール・中央公園です。

王鳳館では、宿題を一番に済ませ、この日に行われる各自登録してある継続体験に分かれ、DIYで本棚作り・和の寺子屋での琴と日本舞踊などを学習していました。

体育館ではスポーツ・小講堂は演劇で赤ずきんちゃんに取り組む児童が印象的でした。

庭では継続体験のない子どもが、元気に遊んでいる様子を視察しました。ふれあい館で行っている児童クラブでは、一輪車や竹馬等自分で目標を決め、記録に挑戦していました。

視察で感じたことは子ども達の向学心と、子どもを見守る指導員やスタッフの皆様の熱心です。



▲宿題を済ませ各継続体験等へ



▲和の寺子屋日本舞踊の様子



▲演劇「赤ずきんちゃん」に取り組む子ども達

活動のひとこま

▶4月16日
消防団入退団式



▶4月5日 消防団第3
分団詰所竣工式



▶5月17日 中学生と
プランター花苗定植作業



▶5月21日
ナイターソフト開幕式



▶5月31日 全国町村議会
議長・副議長研修会(東京)



▶5月20日 大北森林祭・
松川村山の日植樹祭



高瀬広域水道
企業団定例会

平成29年3月28日

審議事項
・平成29年度予算
審議結果
原案のとおり可決。

北アルプス広域
連合議会定例会

平成29年5月18日

(全ての原案を議決承認)
一般会計には、県消防
防災ヘリコプター墜落事
故で殉職した北アルプス
広域消防本部派遣の伊
藤渉消防指令の殉職者賞
じゆつ金を報償費として
計上しました。
また、白馬リサイクル
センター建設工事費を約
4800万円増額する補

正予算案など5議案を議
決、報告7件を承認しま
した。

指名推薦により議長に
勝野富男氏(大町市)、
副議長に白澤富貴子氏
(松川村)を選任しました。
委員会構成も決め、互
選により、総務委員長に
北澤禎二郎氏(白馬村)、
福祉委員長に横沢かつ子
氏(小谷村)、議会運営委
員長に那須博天氏(池田
町)、ごみ処理特別委員長
に高橋正氏(大町市)任
期は2年間です。

監査委員に二条孝夫氏
(大町市)を選任する人事
案を議決し、一般質問は
梨子田長生氏(松川村)
と二条孝夫氏(大町市)
が広域行政全般をただし
ました。

編集後記

初夏、安曇節の一節
に「日本アルプスどの
山みても、冬の姿で夏
となる」と唄われてい
るが、昔より残雪が少
ない気がする。これも
地球温暖化のせいか。
田植えが終わり、早
苗の葉がひらひら揺れ
る、緑と麦秋の黄色と
のコントラストが私達
の目を楽ませてくれ
る。
なんととっても安曇
野の大自然である。
我々はこの大自然を
守って後世に伝えなく
てはならないと思う。

草間 正視

本会議の様子を
インターネット
配信しています。
松川村議会で検索
してください。



議会報編集委員会
委員長 佐藤 節子
副委員長 上田 治美
委員 茅野 靖昌
" 梨子田長生
" 草間 正視